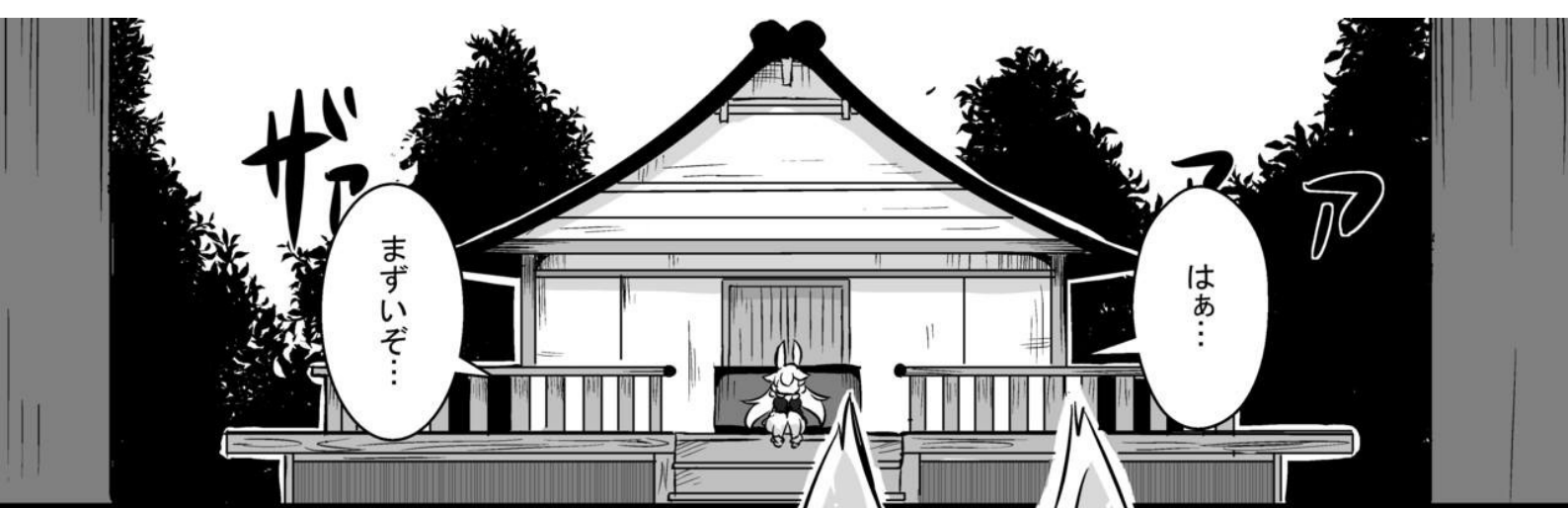


か み さ ま の 神 力







おいッ
兎のッ！
一体どういう
つもりだッ

ガッ

ガッ

私はこれから
豹の所にお
神酒を採りに…

こらこら
ウサギなんて
乱暴な物言いを
するな

この拘束を
解かないかッ！

同じ神だと
しても許される
行為ではないぞッ！

そんな子に
育てた
覚えはないぞ

ちゃんと
ツクヨミという
名で呼ばないか

お前に育てて
貰った覚えは
…うッ

ただ取って食うって
だけなんだからな

それにそう
熱ることも
ないだろう



いッ…いい加減に
しないかッ

私は祭りの準備で
忙しいんだッ
まだまだ
お神酒の数が…

ええいッ
うるさいぞッ
お神酒お神酒ッて

お前の神社で
出してるのは
お神酒という名の
巫女のおしっこ
だらうがッ

そんなもん
後で私がいくらでも
出してやるわッ



それよりも今は
お前の神力を
私に分けて

うっまッ
待てッ踏むなッ

参拝客の願いを
叶える方が

大事だろうがッ

あおつやッ
やめッ

がつぐっ…っ♡

おおっ？



なっ何を
ばかな事を…ッ



まさか自分の
巫女達に踏ませてる
わけじゃないだろうな？

いつからそんな
好きものになっ
たんだ？

足で踏まれて
イッてしまっ
た…



何だ何だ口では
そう言っても
体は正直じゃないか♡



はあ…しかし
いつ見ても
お前のは立派な
モノを持ってる♡

実に私好みで
たまらん…♡



だがな…折角出すなら
ちゃんと私の中に
出してもらわないと

神力が勿体無い
ではないか♡

うおっ…





なあ…龍の坊
流石にこのサイズを
受け入れられる
巫女は…んっ♡

お前のところにも
居ないだらうっ…♡

根元まで
ずっほりだぞ♡

うっ…
ぐ…っ♡

ぐおおっ♡

ふふふ…
相変わらず
情けない声だ

そんなに感じて
かわいいやつめ♡

ふっふざけるなッ

かつ感じてなど
いるものかつ



ほーっ
言ったな
じゃあこれは
どうだっ♡

ツッおっ
ばっ馬鹿ッ
そんな締め付けッ♡

ほれほれ
早く素直に...

おおっ♡
くっくっ♡

んんんん♡

でっけい♡

ギョッ♡



はあ...っ
いいぞ...龍の坊や...っ
お前の精液は...
なんとも心地がいい...♡

とても熱くて...
それでいて暖かい...♡

神力がそのまま
子宮に染み込んでくる
ようだ...♡



ふんっ...♡

おっ...
おっ...♡



ふう...少し
私だけが楽しみ
すぎたな

少しは良い思いを
させてやろう♡

ちよっ...まで...
す...少し休ませ...

ツ!!!

確かお前は
こつちの方が
好みだったろう？

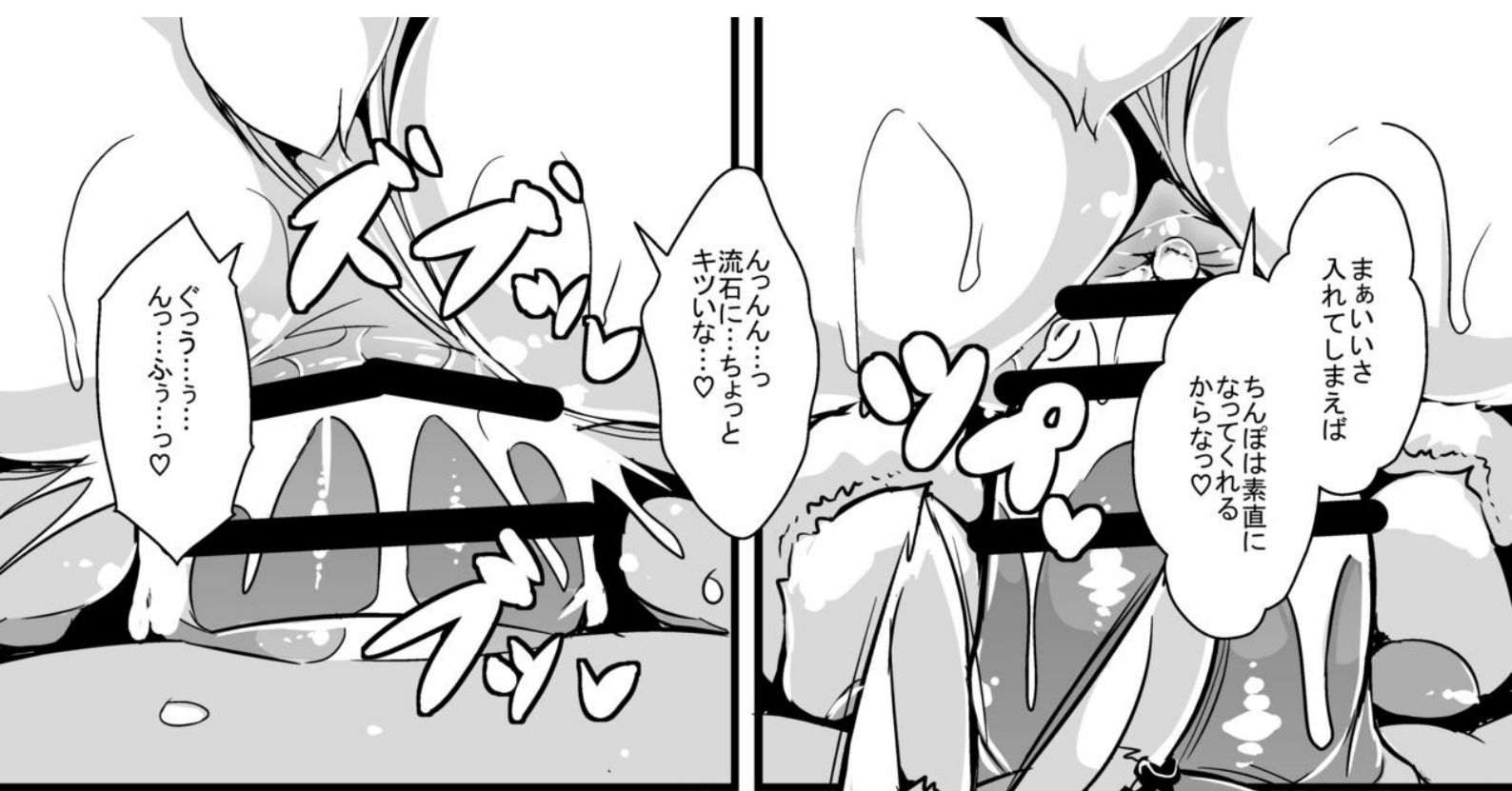
どうだ？
私の尻穴は
綺麗だろう？

…あ…ああ…
きれ…

って何を
言わせるッ

ちっ
本当に素直
じゃないな

まったく神のクセに
性癖の歪んだ奴め♡



まあいいさ
入れてしまえば

ちんぽは素直に
なってくれる
からなっ♡

んっんっ...
流石に...ちよっと
キツいな...♡

んっ...んっ...
んっ...んっ...
♡



ふっ...はあっ...
入ったぞ...♡

ふふふ...だが
頑張った甲斐が
あったもんだ...♡

んっ...♡

お前のが今までに
無いほどに...ひあ...っ♡

これは中々...っ
お尻の形が...
変わってしまい
そうだっ...♡

脈打ってるのが
分かる...ぞ...っ♡







ああああっ
なんだこれはっ
きつ気持ち
良すぎるっ♡

ばっ馬鹿に
なうてしま
そうだっ♡

これっこれっ
っ良いつ♡



んっひっ
もつともつと
射精してくれっ♡

ああああっ
いついくッ
またイッてしまッ♡

ぶぐりう
うううんうっ♡

お腹いっぱいに
なるまでっ
出してッ♡



ふひい…
はひい…♡

ああ…久々に…
イキまくって
しまった…♡

んっふ…
すごいな…
まるで私が
射精してる
みたいだ…♡

おい龍の坊…
まだまだやる
元気はあるな…？

…聞こえて
ないか…？

まあ…
構わんか♡

うっ
おっ…♡

やっぱりちんぽは
太いのに限るな…♡



かみさまー

お祭りの
準備が
出来ました
よー!!

